

IV 【難病のリハビリテーションについて教えてほしい】

1 難病のリハビリテーション

難病は、長期の療養を必要とし社会参加等の日常生活に影響を及ぼすことがあります。

このことから、早期から疾患の状態に応じた運動や趣味活動等の社会参加、日常生活の工夫をすることはとても大切です。

患者本人が取り組める主体的な活動を取り入れていくことが必要になります。

2 在宅療養で利用できるリハビリテーションの種類

種類	概要	制度
通所リハビリテーション	介護老人保健施設、病院等（主治の医師がその治療の必要の程度につき厚生労働省令で定める基準に適合していると認めたものに限る。）において、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法、作業療法その必要なリハビリテーションを行うサービス	介護保険によるサービス
訪問リハビリテーション	理学療法士や作業療法士等が居宅において（主治の医師がその治療の必要の程度につき厚生労働省令で定める基準に適合していると認めたものに限る。）心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行う理学療法、作業療法その必要なリハビリテーションを行うサービス	介護保険が優先
訪問看護からの訪問リハビリ	訪問看護ステーションから理学療法士等が自宅に訪問し、訪問看護師と連携しながら心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために理学療法、作業療法その必要なリハビリテーションを行います。	介護保険の認定を受けていても、P.10にある厚生労働大臣の定める疾病等の場合は、医療保険での利用となります。

3 リハビリテーションに関する相談先

介護保険制度を利用し、担当ケアマネジャーがいる場合は、担当ケアマネジャーに相談ください。いない場合は、主治医等にご相談ください。

リハビリテーション専門職の視点を活用したリハビリの相談については、滋賀県立リハビリテーションセンター（窓口は保健所）にお問い合わせください。

4 リハビリに関する参考資料

以下の資料について、滋賀県立リハビリテーションセンターのホームページからダウンロードできます。

（滋賀県立リハビリテーションセンター：<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/rehabili/nanbyou.html>）

- ・パーキンソン病の毎日体操（資料 P.56）
- ・日常生活の工夫（資料 P.57）
- ・パーキンソン病の毎日体操実践記録カード
- ・パーキンソン病患者さんにお聞きした日常生活での工夫
- ・見てみよう！やってみよう！SCD（脊髄小脳変性症）の自主練習 ～上手に機能を維持するために～（資料 P.58）
- ・見てみよう！やってみよう！SCD（脊髄小脳変性症）の自主練習（STEP 2） ～上手に機能を維持するために～（資料 p.66）